

分科会 1：新しい学習指導要領をふまえ社会とすすめる ESD

分科会 1 報告

ファシリテーター
中澤 静男
奈良教育大学次世代教員養成センター
准教授
／近畿 ESD コンソーシアム 事務局長

「新しい学習指導要領を踏まえ社会とすすめる ESD」をテーマに、沖縄県竹富町立上原小学校長である井原田晃氏と筑波大学附属坂戸高等学校 WWL 推進委員会委員長・主幹教諭である建元喜寿氏から話題提供が行われた。

上原小学校では、西表島の自然環境を生かした魚まき集会や伝統文化であるデンサー節といった、地域に根付いた学習が地域住民と共に展開されていた。一方、学校近隣の住民に地元意識が希薄な坂戸高等学校からは、農業科の特性を生かし、農産物販売を通じた人と人のつながりを形成する取組が報告された。

その後、2つの報告を参考に SDGs を地域で達成していくための人づくりを見据えたこれからの教育実践の方向性について、グループディスカッションを行った。そして、実感を伴う本物との出会いや体験の大切さと、それを可能にする地域との連携を前提としたカリキュラムの作成が重要であることが確認された。